

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	402,052千円	422,779千円	358,350千円	0千円
総人件費	16,033千円	14,209千円	11,076千円	
総事業コスト	418,085千円	436,988千円	369,426千円	

事務事業名	01 庁舎維持管理事業				指標名	管理業務日数				指標種別	活動結果指標				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要		
戦略プラン	-	-	-	-	365日	366日	365日	365日	365日	366日	365日	庁舎・大穂庁舎及び旧庁舎の維持管理業務日数			
総合戦略	-	-	-	-	実績	365日	366日	-				その他の指標			
個別計画	-					H27年度				H28年度					
根拠法令等	-					改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎の設備等改修 平成28年度以降の大穂庁舎外敷地内施設維持管理業務委託の見直し 庁舎レイアウトの見直し 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎給水設備の更新 庁舎等の電力購入に関する仕様書の見直し 			
事業分類	F	施設等維持管理事業				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎空調設備の改修 旧豊里庁舎給水ポンプ設置工事の完了 大穂庁舎外敷地内施設維持管理業務委託仕様書の見直し 旧桜庁舎受電設備変更の検討 庁舎2階展示スペースの事務室転用の検討 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎給水設備更新工事の実施 平成28年9月で満了となる庁舎等の電力購入についての仕様書等の見直し 			
執行体制	一部委託				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理補修・工事件数 本庁舎：55件 大穂・豊里庁舎：30件 大穂庁舎施設外敷地内施設維持管理業務委託仕様書を見直しを行い、平成28・29年度の総合設備・警備等委託及び清掃業務委託契約を締結し、安定的な業務委託の実施が可能となった。 旧桜庁舎受電設備変更について検討を行った。 庁舎2階展示スペースの事務室転用の検討を行った。 				上半期活動実績	-				
事業の目的	本庁舎及び旧6庁舎(春日庁舎を除く)の施設・設備等の維持管理を行い市民の利便性と事務事業の効率化を図るため。				成果	<ul style="list-style-type: none"> 設備等の改修工事の実施及び維持管理委託の仕様の見直し等の実施により、安全性を確保できた。 				上半期成果	-				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 旧庁舎(解体までの維持管理) 本庁舎(各種業務委託の実施：設備管理、植栽管理、廃棄物運搬、等) (維持管理のための修繕・改修工事等) 				課題	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎の空調設備については、改修工事を行ったが、機能維持のための改修であり、空調・給水・電気設備の他、施設が老朽化しているため、今後、利用状況によっては、大規模改修が必要となる。 				課題	-				
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成							
ISO 14001	-	-			有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				
環境性	-	-			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				
										事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
										事業費(A)	201,362千円	256,276千円	268,326千円	0千円	
										国庫支出金	0千円	4,955千円	1,262千円	0千円	
										県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
										地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
										その他特財	0千円	39,986千円	47,215千円	0千円	
										一般財源	201,362千円	211,335千円	219,849千円	0千円	
										人件費(B)	4,720千円	4,623千円	4,516千円		
										正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人	
										内訳	時間外勤務	340.00時間	340.00時間	300.00時間	
										臨時職員等	有	有	有		
										事業コスト(A+B)	206,082千円	260,899千円	272,842千円		
										H29年度当初積算根拠	-				
										H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	402,052千円	422,779千円	358,350千円	0千円
総人件費	16,033千円	14,209千円	11,076千円	
総事業コスト	418,085千円	436,988千円	369,426千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	02 庁舎清掃・警備委託事業				指標名	清掃・警備業務日数				指標種別	活動結果指標									
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要							
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	365日	366日	365日	365日	365日	366日	365日	庁舎の清掃業務及び警備業務日数							
総合戦略	-	-	-	-	実績	365日	366日	-					その他の指標							
個別計画	-	-	-	-	H27年度				H28年度				事業実施コスト							
根拠法令等	-	-	-	-	改善目標	・委託業者の警備員教育の改善の指示を行う。				改善目標	-									
事業分類	F 施設等維持管理事業				事業計画	・複数年(2年間)の庁舎清掃・警備業務委託満了に伴い、平成28年度以降の清掃・警備業務委託仕様書の見直しを行う。				事業計画	・委託業務の執行管理を行う。				事業費(A)	51,147千円	51,158千円	63,440千円	0千円	
執行体制	全て委託				活動実績	・清掃業務(日常清掃:243日・定期清掃:2回)。 ・警備:時間外の電話対応,書類の受取等の業務。(警備:366日) ・庁舎清掃・警備業務委託仕様書の見直しを行い、平成28年度以降(2年間)の委託契約を締結し、安定的な業務委託の実施が可能となった。				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	清掃については、庁舎を良好に維持し、衛生的かつ快適な職場環境を保つため。また、警備については、本庁舎における警備及び時間外の電話対応による、庁舎の保全と市民サービス向上のため。				成果	・庁舎を良好に維持し、衛生的かつ快適な環境を保つことが出来た。 ・警備業務については、警備及び時間外の電話対応,書類の受け取り等の業務を実施し、市民サービスの向上が図れた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	本庁舎の清掃業務及び警備業務の実施				課題	-				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境関連性	-	-	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	事業コスト(A+B)	54,375千円	53,574千円	65,856千円	人件費(B)	3,228千円	2,416千円	2,416千円
					評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		H29年度当初積算根拠	理由	-	-	-	-	-	
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-									
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	402,052千円	422,779千円	358,350千円	0千円
総人件費	16,033千円	14,209千円	11,076千円	
総事業コスト	418,085千円	436,988千円	369,426千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	03	総合案内・電話交換委託業務	指標名	総合案内・電話交換業務日数				指標種別	活動結果指標	指標の概要	庁舎での総合案内及び電話交換業務日数					
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度				
戦略プラン	-	-	-	244日	243日	243日	244日	244日	244日	244日						
総合戦略	-	-	-	244日	245日	-										
個別計画	-	-	-	H27年度				H28年度								
根拠法令等	-	-	-	改善目標	・イベント等の催物の情報提供を受ける。				改善目標	・庁舎内での会議及び市が実施するイベント等の情報提供について、職員に周知する。						
事業分類	F	施設等維持管理事業	事業計画	・多種多様なニーズに対応し、市民サービスの向上を図るため、市が関係する催物等の情報提供を関係部署に依頼する。				事業計画	・来庁者の多種多様なニーズに対応し、市民サービスの向上を図るため、市が関係する催物等の情報提供を関係部署に依頼する。 ・委託業務の執行管理を行う。							
執行体制	全て委託		活動実績	・電話交換・総合案内の通常業務 ・災害対応(電話交換業務) 平日時間外対応 1日 休日対応 2日				上半期活動実績	-							
事業の目的	・多種多様なニーズに対し、より迅速かつ的確な対応を行い、市民サービスの向上を図るため。		成果	・組織改革及び人事異動に伴う適正な案内等への対応 ・災害対策本部への緊急対応(電話交換業務) ・総合案内にあった市民からの要望等の担当部署への報告				上半期成果	-							
事業の概要	本庁舎の電話交換及び総合案内業務の実施。		課題	・会議室案内板に登録されていない会議等があるため、会議に出席する来庁者を案内できない。				課題	-							
ISO 14001	-	-	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-						
環境性	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				評価	有効性	-					
	-	-		効率性	中:適切な費用対効果が得られている					効率性	-					
	-	-		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価	-					
											事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
											事業費(A)	20,477千円	23,588千円	23,588千円	0千円	
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
											一般財源	20,477千円	23,588千円	23,588千円	0千円	
											人件費(B)	1,601千円	824千円	824千円		
											正職員	従事割合	0.20人	0.10人	0.10人	
											正職員	時間外勤務	30.00時間	30.00時間	30.00時間	
											臨時職員等	有	有	無		
											事業コスト(A+B)	22,078千円	24,412千円	24,412千円		
											H29年度当初積算根拠	-				
											H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	402,052千円	422,779千円	358,350千円	0千円
総人件費	16,033千円	14,209千円	11,076千円	
総事業コスト	418,085千円	436,988千円	369,426千円	

事務事業名	04 旧庁舎解体事業	指標名	-				指標種別	活動結果指標				指標の概要	旧庁舎解体工事にかかる設計・解体工事等経費				
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績	-		-	-	-	-	-	-	-								
総合戦略	-		H27年度				H28年度				その他の指標	-					
	-	改善目標	・施設の老朽化及び維持管理経費削減のため、旧荳崎庁舎の解体工事を実施する。				改善目標 ・旧庁舎の跡地利用担当部署との調整										
個別計画	現庁舎及び跡地等整備計画	事業計画	・旧荳崎庁舎解体工事の実施 ・旧桜庁舎解体について、跡地利用計画担当部署と調整 ・旧谷田部庁舎敷地内バス車庫・倉庫等の移転等検討				事業計画 ・旧桜庁舎については、跡地利用担当部署と調整し、跡地利用決定後の解体工事に備える。 ・旧庁舎跡地内にある車庫・倉庫等の移転等を検討する。 ・旧荳崎庁舎跡地について、管理替えまでの用地の維持管理を行う。				内訳	事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	新庁舎建設に伴う現庁舎等利活用方針	活動実績	・旧荳崎庁舎解体工事の実施 ・旧谷田部庁舎の跡地を谷田部小グラウンドに活用することについて、教育局と調整を実施				上半期活動実績 -					事業費(A)	123,009千円	85,677千円	0千円	0千円	
事業分類	G 建設等事業	成果	・老朽化した施設の撤去により、近隣の治安確保及び今後の維持管理費の削減が図られる。 ・解体工事完了により、跡地利用が可能となった。				上半期成果 -					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ	課題	・旧桜庁舎の跡地利用が決定しないため、旧桜庁舎の解体が未定である。 ・旧谷田部庁舎敷地等の維持管理 ・旧荳崎庁舎跡地周辺庁舎用地の維持管理				課題 -					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	荳崎、桜庁舎の旧庁舎の施設や植栽等の維持管理費のコスト削減を図るため。	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	H22年度荳崎庁舎解体設計、H23年度桜旧庁舎解体工事設計・解体工事、H24～25年度谷田部庁舎解体工事設計・解体工事、H25～26年度筑波庁舎解体工事設計、H26年度筑波庁舎解体工事・荳崎庁舎解体工事再設計、H27年度荳崎庁舎解体工事、H28年度桜庁舎解体工事設計・解体工事	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-	目標の進捗状況	-	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		
ISO 14001 環境性	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-				一般財源	123,009千円	85,677千円	0千円	0千円			
										人件費(B)	3,093千円	3,026千円	0千円				
										内訳	正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.00人		
											時間外勤務	20.00時間	20.00時間	0.00時間			
											臨時職員等	無	無	-			
											事業コスト(A+B)	126,102千円	88,703千円	0千円			
											H29年度当初積算根拠	-					
											H29年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	402,052千円	422,779千円	358,350千円	0千円
総人件費	16,033千円	14,209千円	11,076千円	
総事業コスト	418,085千円	436,988千円	369,426千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	05 備品の管理事務	指標名	備品数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	本庁舎内で管理している備品数					
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
総合戦略	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
個別計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
根拠法令等	つくば市物品管理規則	実績	8,228点	8329点	-												
事業分類	D 内部管理事業	H27年度				H28年度				その他の指標	-						
執行体制	一部委託	改善目標	重要物品の登録漏れがなくなるよう、システム改善を行う。				改善目標	・老朽化した備品の更新を検討する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
事業の目的	・備品を有効に使用するため。 ・効率的かつ効果的な管理をするため。	事業計画	・平成27年3月31日現在の現品調査実施。 ・備品管理システムの運用管理。 ・人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足する備品の購入。				事業計画	・庁舎備品現品調査の実施 ・備品管理システムの運用管理 ・組織改編、人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足備品(老朽化した備品含む)の購入				事業費(A)	6,057千円	6,080千円	2,996千円	0千円	
事業の概要	・備品管理システムの運用管理 ・現品調査の実施(在庫管理) ・新規備品購入及び備品修繕依頼 ・人事異動に伴う庁内レイアウト変更	活動実績	・庁舎備品現品調査の実施 ・備品管理システムの運用管理(備品管理システム改修:2月及び3月) ・庁内備品購入 ・組織改編、人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足する備品の購入				上半期活動実績	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001 環境性	廃棄物発生抑制 備品を適正に維持管理し、不必要な備品購入を抑制する事で、無駄な廃棄物を削減することができる。	成果	・備品管理システム及び現品調査により、適正な備品管理ができた。				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		課題	・庁舎の開庁から5年が経過し、老朽化している備品がある。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
		事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			一般財源	6,057千円	6,080千円	2,996千円	0千円	
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-			人件費(B)	3,391千円	3,320千円	3,320千円		
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-			正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人	
												時間外勤務	130.00時間	130.00時間	130.00時間		
												臨時職員等	無	無	無		
												事業コスト(A+B)	9,448千円	9,400千円	6,316千円		
												H29年度当初積算根拠	-	-	-		
												H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	14,996千円	6,830千円	7,994千円	0千円
総人件費	7,215千円	7,060千円	7,060千円	
総事業コスト	22,211千円	13,890千円	15,054千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	12	市有土地建物の管理に要する経費

事務事業名	01 市有地の管理事業				指標名	市有地除草件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要			
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	未利用の市有地(普通財産)について、生活環境保全のため、年2回の除草作業を行う。					
戦略プラン	-	-	-	-	実績	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回						
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-				
	-	-	-	-	改善目標	市有地払下げについては、年度内の申請件数に対し、100%の契約を達成する。				改善目標	-							
個別計画	-				事業計画	市有地除草業務委託(年2回) つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷など)				事業計画	市有地除草業務委託(年2回) 市有地内の樹木剪定伐採等 つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷等)・貸付け							
根拠法令等	つくば市公有財産規則					活動実績	市有地除草業務委託(年2回 41か所 24487㎡) 市有地内の樹木剪定伐採等(4か所) つくば市公有財産管理委員会の開催 4回(11・12・1・3月) 未利用市有地の売払い(廃道敷など) 1件 売払い面積 85.54㎡ 金額 4,264,400円				上半期活動実績	-						
事業分類	A 任意的事業				成果		市有地(普通財産)を適正に管理することができた。 払下げ申請のあった廃道敷地(普通財産)を売払い、管理面積の削減及び市の歳入に貢献できた。					上半期成果	-					
執行体制	一部委託					課題	-				課題		-					
事業の目的	市が所有する土地(普通財産)を良好な状態に維持管理するため。 普通財産が経済的価値を十分に発揮するように運用するため。																	
事業の概要	市有地の取得、処分、貸し付け等について、庁内各部及び市民からの協議依頼に基づき随時実施する。 未利用の市有地(普通財産)については、生活環境保全等のために年2回の除草作業を行う。																	
					事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-					
ISO 14001 環境性	廃棄物発生抑制				評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性	-			H29年度の方向性	-	理由	-
	市有地(普通財産)の除草等を適正に行うことで、不法投棄の抑止につながる。					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-						
						総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-						

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	7,838千円	2,816千円	4,714千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	4,714千円	0千円
一般財源	7,838千円	2,816千円	0千円	0千円
人件費(B)	3,987千円	3,901千円	3,901千円	
正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人
内訳	時間外勤務	70.00時間	70.00時間	70.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	11,825千円	6,717千円	8,615千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	14,996千円	6,830千円	7,994千円	0千円
総人件費	7,215千円	7,060千円	7,060千円	
総事業コスト	22,211千円	13,890千円	15,054千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	12	市有土地建物の管理に要する経費

事務事業名	02 市有建物の管理事業				指標名	旧上郷高等学校敷地管理面積				指標種別	活動結果指標				指標の概要
						H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	6,587㎡	暫定管理を行っている旧上郷高等学校の建物及び敷地の適正管理を行う。	
総合戦略	-	-	-	-	実績	6,587㎡	6,587㎡	-							
個別計画					H27年度				H28年度				その他の指標		
根拠法令等	つくば市公有財産規則				改善目標	利用において、不都合が生じる場合にのみ、必要に応じて部分的な修繕をする。				改善目標	利用において不都合が生じる場合にのみ、必要に応じて部分的に修繕をする。				
事業分類	A 任意的事業				事業計画	機械警備業務委託(年間) 電気保安業務委託(年間) 消防設備点検委託(年間)				事業計画	機械警備業務委託(年間) 電気保安業務委託(年間) 消防設備点検委託(年間) 除草作業(年3回) 旧上郷高等学校				
執行体制	一部委託				活動実績	機械警備業務委託(年間) 電気保安業務委託(年間) 消防設備点検委託(年間) 除草作業(年3回) ガラス破損修繕				上半期活動実績					
事業の目的	管財課が保有する建物を維持管理するため。				成果	旧上郷高等学校の適正な管理を行い、体育館及び旧校舎を備蓄倉庫として有効活用することができた。また、常総市等災害時には、警視庁及び機動隊の臨時対策拠点として利用された。				上半期成果					
事業の概要	損害保険の新規加入、更新等の総括。 市有建物の貸付契約及び徴収、修繕等。				課題	旧上郷高等学校は、東日本大震災の被災及び老朽化により、人が安全に利用する建物としては機能しない状態である。				課題					
ISO 14001 環境性	地球温暖化の防止 必要最小限の電気(警備・消防設備)を使用し、電気使用量の削減に努めている。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-			
評価					有効性	中:適切な成果が得られている				有効性					
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性					
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価					
事業実施コスト															
H26年度決算															
H27年度決算															
H28年度当初															
H29年度当初															
事業費(A)															
7,158千円															
国庫支出金															
0千円															
県支出金															
0千円															
地方債															
0千円															
その他特財															
0千円															
一般財源															
7,158千円															
人件費(B)															
3,228千円															
正職員															
従事割合															
0.40人															
時間外勤務															
70.00時間															
臨時職員等															
無															
事業コスト(A+B)															
10,386千円															
H29年度当初積算根拠															
理由															
H29年度方向性															

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	111,515千円	112,133千円	129,180千円	0千円
総人件費	7,338千円	6,438千円	6,438千円	
総事業コスト	118,853千円	118,571千円	135,618千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事務事業名	01	公用自動車の管理事業	指標名	公用車の維持管理台数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	管財課で維持管理を行う車両台数							
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
戦略プラン	-	-	-	329台	327台	325台	325台	325台	325台	325台									
総合戦略	-	-	-	実績	328台	316台	-				その他の指標	-							
				改善目標	H27年度				H28年度										
個別計画		公用車の効率的運用及び管理	事業計画	改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事故件数の削減 ・出先機関公用車の削減(現176台・削減3台 消防本部・水道会計を除く) ・乗換リース:37台 ・有料道路使用料の抑制 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事故件数の削減 ・乗換リース:34台 ・有料道路使用料の抑制 				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故者に対し、使用制限等について検討する。 ・安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 ・老朽化した車両を新規車両への乗換リースを行う。 ・平成26年度に引き続き、有料道路の利用及びETCカード使用基準を継続する。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故者に対し、使用制限等について検討する。 ・安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 ・老朽化した車両を入替え、新規リース車へ移行する。 ・有料道路の利用及びETCカード使用基準を適用し、利用の抑制を図る。 									事業費(A)
根拠法令等		つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程	活動実績	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・車検(136台)、定期点検(30台)、任意保険加入(225台)、修繕(のべ115台)、リース契約(71台) 再リース33台含む、廃車(50台) リースアップ35台含む ・集中管理の公用車の運行記録を警備員に入力してもらうことで、公用車の空き時間の短縮を図り、より効率的な運用をした。 				活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
				成果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した車両を廃車することにより、適正に公用車を配置することができた。 ・市で行う各種事業に貢献した。 				成果	-									
事業分類		D 内部管理事業	課題	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の事故防止 ・公用車の削減 				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要		車検、定期点検、任意保険加入、修繕、リース契約、車両購入、廃車、運行予約、記録入力管理	事業の進捗状況	事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	一般財源	110,788千円	105,198千円	120,607千円	0千円			
				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	人件費(B)	4,096千円	4,008千円	4,008千円				
ISO 14001 関連性	環境性	大気汚染の防止	評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-				H29年度当初積算根拠	H29年度当初積算根拠	理由	-		
				効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-									
		古くなった車両を廃車し、最新の低公害車両を導入することで、環境に最大限配慮する。	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	111,515千円	112,133千円	129,180千円	0千円
総人件費	7,338千円	6,438千円	6,438千円	
総事業コスト	118,853千円	118,571千円	135,618千円	

事務事業名	02 バス運行管理事業				指標名	送迎人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	行政バスへの乗車人数				
	戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	目標値	8,800人			10,000人	10,000人	10,000人	10,000人
総合戦略	-				実績	13,138人	12291人	-												
	H27年度					H28年度					その他の指標	-								
個別計画	-				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 行政バスの点検整備 委託仕様書の見直し 				改善目標		<ul style="list-style-type: none"> 今後のバス利用・運用方法の検討 				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
	根拠法令等	つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程 行政バス利用規程				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化したバス1台の廃車 定期点検等を行い車両の維持管理を行う。 運転業務委託の仕様書の見直しを行い、平成28年度に備える。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> バスの配車申請承認 定期点検の実施，車両の維持管理 					事業費(A)	727千円	6,935千円	8,573千円
事業分類		D 内部管理事業					活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 配車回数 461回 送迎人数(延べ) 12,291人 旧議会バスの仕様書の見直し 行政バス利用規程の改正(宿泊について) 老朽化したバス(旧福祉バス)1台の廃車 イントラシステム改修(乗車人数の算出追加) 定期点検の実施，車両の維持管理 				上半期活動実績	-					内訳	国庫支出金	0千円
	執行体制	全て委託				成果		<ul style="list-style-type: none"> バスを廃車し、5台から4台にしたことにより、維持管理費用の削減ができた。 市で行う各種事業に貢献した。 					上半期成果	-					県支出金	0千円
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 行政バスの配車申請承認 平成26年度から、バス5台(行政バス1台、旧福祉バス2台、旧生涯学習バス1台、旧議会バス1台)の一元管理(平成27年度からは4台に削減) 運転手等は、運転整備管理業務委託で締結 					課題	<ul style="list-style-type: none"> バス老朽化に伴う故障の増加(維持管理費の増加) バス利用繁忙期(7月、10月、11月)の配車業務効率化 				課題		-				地方債	0千円	0千円
	ISO 14001 環境性	天然資源の枯渇防止				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成			事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他特財	0千円	0千円	0千円
定期点検実施により、車両を適正な状態に維持し、燃料の無駄な消費を削減している。				評価	有効性		中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-			一般財源	727千円	6,935千円	8,573千円	0千円		
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性	-		人件費(B)	3,242千円	2,430千円	2,430千円			
				評価		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価		総合評価	-		正職員	従事割合	0.40人	0.30人	0.30人		
					評価			評価				H29年度当初積算根拠	時間外勤務	75.00時間	75.00時間	75.00時間				
				理由					理由				臨時職員等	無	無	無				
					理由			理由				事業コスト(A+B)	3,969千円	9,365千円	11,003千円					
				理由					理由			H29年度当初積算根拠	-							
					理由			理由				H29年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	14	事務機器管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	19,562千円	20,932千円	21,819千円	0千円
総人件費	3,310千円	2,497千円	2,497千円	
総事業コスト	22,872千円	23,429千円	24,316千円	

事務事業名		01 事務機器の管理事業		指標名	複合機パフォーマンスチャージ料				指標種別	活動結果指標		指標の概要	庁舎設置の複合機に係るパフォーマンスチャージ料金						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
実績		- - - -			11,683千円	15,506千円	15,643千円	-	-	-	-								
総合戦略		- - - -		H27年度				H28年度				その他の指標	-						
改善目標		- - - -		カラ印刷機と管理端末を接続し、データからの印刷出力が可能となるよう関係課と協議する。				改善目標 ・複合機での不要な印刷及びカラー印刷の抑制について、庁内へ周知徹底する。											
個別計画		-		事業計画				事業計画				事業実施コスト							
根拠法令等		-		契約期間満了に伴う、庁舎複合機の入替及びサーバの再構築				・複合機及び印刷機(モノクロ, カラー)の維持管理 ・庁舎シュレッダーの維持管理 ・大判プリンターの庁内共用化 ・紙折機の入替(5月)				H26年度決算							
事業分類		D 内部管理事業		活動実績				上半期活動実績				H27年度決算							
執行体制		職員のみ		・庁舎複合機の入替(31台) パフォーマンスチャージ料 15,872千円 ・モノクロ印刷機インク 140本, マスター 48本 ・カラー印刷機インク 64本 ・シュレッダー用袋(200枚入り) 14箱発注 ・複合機の印刷抑制依頼(12月部長等連絡会議及びイントラネットでの通知) 各機器の修繕は保守込契約のため随時依頼				上半期成果				H28年度当初							
事業の目的		・事務機器の効率的かつ効果的な運用管理のため。		成果				上半期成果				H29年度当初							
事業の概要		・複合機及び印刷機等の管理運用 ・消耗品等の発注及び在庫管理 ・故障等の修繕依頼 ・各種契約事務, 料金支払		課題				課題				H29年度当初積算根拠							
				事業の進捗状況		達成		目標の進捗状況		達成		事業の進捗状況		-		目標の進捗状況		-	
ISO 14001 環境性		天然資源の枯渇防止 複合機での不要な印刷を抑制することで、紙・インク等を削減できる。		有効性		中:適切な成果が得られている		有効性		-		H29年度の方向性		-		理由		-	
				効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-									
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	17	駐車場維持管理に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	9,600千円	15,226千円	24,331千円	0千円
総人件費	2,373千円	2,323千円	2,323千円	
総事業コスト	11,973千円	17,549千円	26,654千円	

事務事業名	01 庁舎駐車場の管理事業				指標名	駐車場料金徴収金額(単位:千円)				指標種別	活動結果指標				指標の概要				
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
戦略プラン	-	-	-	-	34,171千円	35,877千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円	35,800千円							
総合戦略	-	-	-	-	実績	35,984千円	40,780千円	-											
					H27年度				H28年度										
個別計画					改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 雨水排水の改善のため、関係部署と協議を行い、改修工事を実施する。 駐車場案内標示の変更及び案内看板等の設置等を行う。 職員の駐車場使用料の適正な徴収 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎通路の舗装改修 庁舎駐車場の適正管理 各施設の職員駐車場の修繕 								
					事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場料金の徴収 来庁者、職員等 庁舎駐車場及び各施設の職員駐車場の修繕 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎通路の改修設計を行い、舗装改修工事を行う。 庁舎駐車場の維持管理を行う。 各施設の要望を受け、職員駐車場の補修を行う。 								
根拠法令等	つくば市駐車場条例及び施行規則 つくば市職員等の駐車場の使用について (伺定)				活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場料金の徴収 来庁者:4,242,500円 職員:36,537,800円 駐車場修繕 19件(職員駐車場7件含む) 庁舎駐車場案内関係工事 7件 				上半期活動実績									
事業分類	F 施設等維持管理事業				成果	<ul style="list-style-type: none"> パークアンドライド駐車場の庁舎駐車場への移行により、既存の駐車場案内看板の改修及び案内看板を設置 駐車場へ安全に誘導するため、進入路の路面表示及び誘導ポールを設置 駐車場の修繕により、適正な利用ができた。 駐車場料金の徴収 				上半期成果									
執行体制	一部委託				課題	<ul style="list-style-type: none"> 破損していた大穂庁舎通路の一部は補修を実施したが、通路全体が破損しているため、つくバス等の通行を考慮した舗装への改修が必要である。 				課題									
事業の目的	駐車場料金の徴収及び修繕整備を行うことにより、適正な駐車場の維持管理を行うため。				事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-							
事業の概要	駐車場料金の徴収, 修繕整備				評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価	有効性								
ISO 14001 関連性					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている			評価	効率性								
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			評価	総合評価								
															事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
															事業費(A)	9,600千円	15,226千円	24,331千円	0千円
															国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
															県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
															地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
															その他特財	9,600千円	15,226千円	15,075千円	0千円
															一般財源	0千円	0千円	9,256千円	0千円
															人件費(B)	2,373千円	2,323千円	2,323千円	
															正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人
															正職員	時間外勤務	35.00時間	35.00時間	35.00時間
															臨時職員等	有	有	有	
															事業コスト(A+B)	11,973千円	17,549千円	26,654千円	
															H29年度当初積算根拠				
															H29年度の方向性	-	理由		